

経理・経営の状況

◆利益率

(単位：%)

		2022年度	2023年度
総資産 利益率	業務純益率	0.21	0.19
	経常利益率	0.21	0.20
	当期純利益率	0.16	0.15
純資産 利益率	業務純益率	3.71	3.33
	経常利益率	3.66	3.46
	当期純利益率	2.76	2.59

(注) 1. 総資産利益率 = $\frac{\text{利益}}{\text{総資産(債務保証見返を除く)平均残高}} \times 100$
 2. 純資産利益率 = $\frac{\text{利益}}{\text{純資産(外部流出額を除く)期末残高}} \times 100$

◆業務純益

(単位：百万円)

	2022年度	2023年度
業務純益	3,082	2,784
実質業務純益	3,082	2,784
コア業務純益	3,056	2,759
コア業務純益(投資信託解約損益を除く。)	3,056	2,759

◆資金運用・調達勘定の平残、利息

(単位：百万円)

	2022年度		2023年度	
	資金運用勘定	資金調達勘定	資金運用勘定	資金調達勘定
平均残高	1,393,888	1,320,060	1,410,291	1,334,566
利息	13,069	272	13,162	319
利息増減額	△ 15	21	93	46

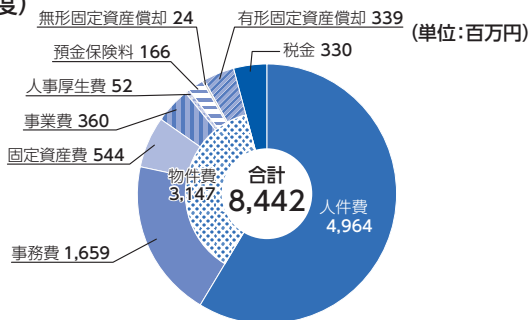
◆役務取引等収支の内訳

(単位：百万円)

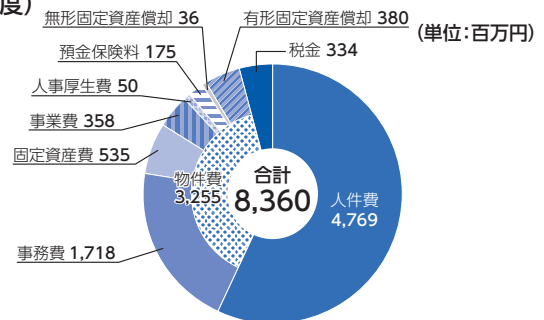
	2022年度	2023年度
役務取引等収益	691	665
受入為替手数料	104	108
その他の受入手数料	587	557
その他	—	—
役務取引等費用	3,208	3,406
支払為替手数料	456	481
その他の支払手数料	26	27
その他	2,725	2,897

◆経費の内訳

(2022年度)

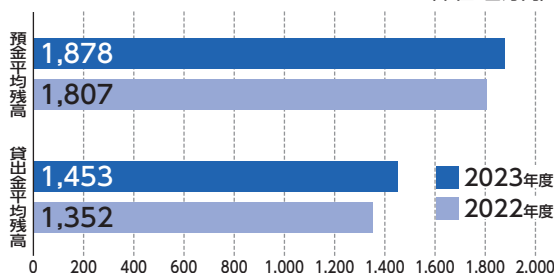


(2023年度)



◆常勤役員1人当たり預金・貸出金残高(平残)

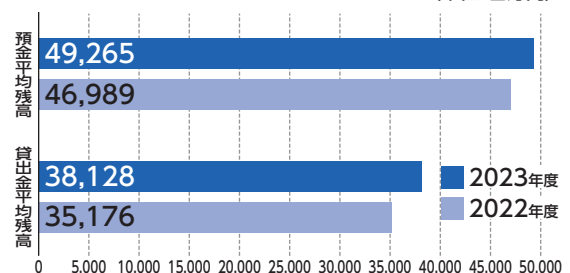
(単位：百万円)



(注) 役員数は期中平均人数を使用しています。

◆1店舗当たり預金・貸出金残高(平残)

(単位：百万円)



(注) 1. 期末の店舗数を使用しています。
 2. 店舗数には、インターネット静岡支店を含みます。

◆総資金利鞘

(単位：%)

	2022年度	2023年度
資金運用利回	0.93	0.93
資金調達原価率	0.65	0.65
資金調達利回	0.02	0.02
経費率	0.66	0.66
総資金利鞘	0.28	0.28

◆粗利益

(単位：百万円、%)

	2022年度	2023年度
資金運用収支	12,796	12,842
役務取引等収支	△ 2,516	△ 2,740
その他業務収支	1,202	1,159
業務粗利益	11,481	11,261
業務粗利益率	0.82	0.79

(注) 1. 「業務粗利益」とは、預金、貸出金、有価証券などの利息収支を示す「資金利益」、各種手数料収支を示す「役務取引等利益」、債券などの売買損益を示す「その他業務利益」の合計です。

2. 業務粗利益率 = $\frac{\text{業務粗利益}}{\text{資金運用勘定平均残高}} \times 100$

(注) 1. 「業務純益」とは、「業務粗利益」から、「貸倒引当金繰入額」および「経費」を控除したもので、金融機関の基本的な業務の成果を示すといわれる利益指標です。なお、業務純益から控除する「貸倒引当金繰入額」は、貸倒引当金が全体として繰入超過の場合、個別貸倒引当金繰入額(または取崩額)を除きます。また、同じく「経費」は、退職給付費用のうち数理計算上の差異の償却額など臨時的な経費等を除きます。
 2. 「実質業務純益」とは、業務純益に一般貸倒引当金繰入額を加えた利益指標です。
 3. 「コア業務純益」とは、実質業務純益から国債等債券関係損益による一時的な変動要因を除いた利益指標です。
 4. 「コア業務純益(投資信託解約損益を除く。)」とは、コア業務純益から投資信託解約損益を除いた利益指標です。

◆その他の業務収支の内訳

(単位：百万円)

	2022年度	2023年度
その他業務収益	1,203	1,160
外国為替売買益	—	—
国債等債券売却益	25	25
その他	1,178	1,134
その他業務費用	1	1
外国為替売買損	0	—
国債等債券売却損	—	—
国債等債券償還損	—	—
その他	1	1